CASBEE-建築(新築)2016年版 GLP平塚エプロジェクト

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版

欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコ	スコアシート 実施設計段階		実施設計段階						
配慮				環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み 係数	評価点	重み 係数	全体
			境品質						3.2
Q1					0.0	0.30		-	2.9
1.	音環均		番音レベル		3.2	0.15	-	-	3.2
-		<u>至内縣</u> 遮音	は百レヘル		3.0	0.40	-	-	
	1.2		開口部遮音性能		3.0	0.60	-		
			界壁遮音性能		3.0	0.40		_	
			界床遮音性能(軽量衝擊源)			-	-	_	
			界床遮音性能(重量衝擊源)		-	-	-	-	
	1.3	吸音		床、天井の二面に吸音材を使用	4.0	0.20		-	
2	温熱環境				2.0	0.35	-	-	2.0
	2.1	室温制			3.0	0.50	-	-	
			室温		3.0	0.38	-	-	
			外皮性能		3.0 3.0	0.25	-	-	
-	2 2	湿度制	ゾーン別制御性		3.0 1.0	0.38		-	
-		空調力			1.0	0.20		_	
3 -	<u></u> 光 • 視				3.5	0.25		-	3.5
ľ		昼光和	川用		3.0	0.30		-	
		1	昼光率		3.0	0.60	-	-	
			方位別開口		-	-	-	-	
			昼光利用設備		3.0	0.40	-	-	
	3.2	グレア			3.0	0.30		-	
			昼光制御		3.0	1.00	-	-	
-		照度	ul den	1 作業 说 什 不 四 四 生 如 不 七 川 工 九 不 刑 較 不 七 7	3.0	0.15	-	-	
		照明制	川御	1作業単位で照明制御でき、リモコンで調整できる。	5.0	0.25	-	-	0.0
4 3		1環境 発生源	5 1 '		3.6 4.0	0.25 0.50	-	-	3.6
	4.1		化学汚染物質	JIS·JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。	4.0	1.00	-		
	42	<u>'</u> 換気	比于77末初夏	ere erreigning in X X X Zeronor-mana-parameter w.	3.3	0.30	-		
	7.2		換気量		3.0	0.33	-	_	
		2	自然換気性能		3.0	0.33	-	-	
		3	取り入れ外気への配慮	空気取り入れ口は汚染源のない方位に設けられていて、かつ各種 排気口と6m以上離れて設置されている。	4.0	0.33	-	-	
	4.3	運用管	i		3.0 3.0	0.20 0.50	-	-	
			喫煙の制御		3.0	0.50	-	_	
Q2 ·	サーヒ	ごス性			-	0.30	-	-	3.4
1.4	機能性	±			3.0	0.40	-	-	3.0
	1.1		・使いやすさ		2.0	0.40	-	-	
			広さ・収納性		1.0	0.33	-	-	
			高度情報通信設備対応		2.0	0.33	-	-	
-	1.0		バリアフリー計画		3.0 4.0	0.33	-	-	
	1.2		Ŀ·快適性 I	天井高は2.7mであり、かつ、全ての執務者が十分な屋外の情報を		0.30		-	
		1	広さ感・景観	得られるように窓が設置されている。 執務スベースの1%以上のリフレッシュスペースを確保し、自動販売機も設置	4.0	0.33	-	-	
			リフレッシュスペース	秋(赤)へ - への 1ヵ以上のリアルックユへへ - へを堆床し、日	5.0	0.33	-	-	
			内装計画		3.0	0.33	-	-	
	1.3	維持管	3. 理	風除室を設け一次と扉と二次扉の間を1m以上開けている。	3.5	0.30	-	-	
				風味至で成け一次と扉と一次扉の間でIM以上開けている。 外部露出の金属部分は亜鉛メッキ処理をしている。	4.0	0.50		-	
			維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-	
2 j		生信頼			3.5	0.30	-	-	3.5
	2.1		免震・制震・制振		3.4 3.0	0.50	-	-	
			耐震性(建物のこわれにくさ) 免震・制震・制振性能	制御装置の導入	5.0	0.80		-	
	22		元辰・前辰・前旅 <u>住</u> 能 部材の耐用年数		4.0	0.20			
	2	1	躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-	
		2		耐用年数の長い外装材(サンドイッチパネル)を採用している。	5.0	0.20	-	-	
		3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	床:タイルカーペット、壁:ビニルクロス貼り等、天井:化粧プラスター ボード	5.0	0.10	-	-	
					2.0	0.40			
		4	空調換気ダクトの更新必要間隔 空調・給排水配管の更新必要間隔	終水(R) 排水(R) 冷((C)	3.0	0.10	-	-	
		5 6		中ロンハレス 3オハハレス リカ末(〇)	5.0 3.0	0.20	-	-	
-	2 4	信頼性	主要設備機器の更新必要間隔 -		3.0 3.2	0.20		-	
	2.4		空調•換気設備		3.0	0.20			
			給排水•衛生設備		3.0	0.20	-	_	
			15.77.17.17.17.17.17.17.17.17.17.17.17.17.	1		3.20	I .		

 3
 電気設備

 4
 機械・配管支持方法

 耐震クラス:Aクラス
 4.0

1 短数のかとり 1			-	洛/号。桂起凯/ <u></u>			0.00		!	
3.1 世帯の中とリ		<u></u>						-	-	3.7
下版名の比とり	3 7								-	3.1
2 国際の形形が自由性 2 表別での関係 3.0 の		3.1			階高:39m以上		i e		_	
3.2 位 百の中止り 3.4 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0										
3.3 室内の更新性	-	2.0			上 X C 20 丁 · V · I Z [/ / / / / / /				_	
1	 									
2		3.3	Par 4 10 100			_				
3			_						-	
# 結束ができる				IPロガハEV史初 Iエ	FPS ランク 各種配管等にて仕上材や構造部材を痞めることがく面	3.0	0.20			
4 高を配信の支軽性 50 0.10 1			3	電気配線の更新性		5.0	0.10	-	-	
4					久瑀配管等にて仕上材や構造部材を序めることが(再新,修繕がで					
1 日本発生の支配性			4	通信配線の更新性		5.0	0.10	-	-	
6 パンプアプスペースの音像										
3				A-100 0-100 - F-101 1-				-	-	
1 生態環境の保証金 下ちながに設定した業務計画としている。						3.0		-	-	
2 またなか-養傷への配慮 まらなかに最後に高級性用化している。						_		-	-	3.2
3 地域性・アンニティへの配置								•	-	3.0
2 2 数年的の設計会員が研究を					まちなみに配慮した景観計画としている。			-	-	4.0
2 表地内温粉度域の向上	3 :	地域性	生・アメ	ニティへの配慮		2.5	0.30	•	-	2.5
R		3.1	地域性	とへの配慮、快適性の向上		2.0	0.50	-	-	
注射性を皮の触負者の制		3.2	敷地内	温熱環境の向上		3.0	0.50	•	-	
連動外皮の飲食肴卵類	LR	建築	物の理	環境負荷低減性			-		-	3.6
2 自然エネルギー利用						_	-	-	-	-
3 数億システムの高齢単化	_ 1 3	建物ケ	ト皮の熱	热負荷抑制			-	•	-	-
3 数億システムの高齢単化	2	自然エ	ニネルキ	一利用		-	-	•	-	-
4						-	-		-	-
集合住宅以外の評価						-	-		-	-
4.1 モニタリング	ľ			宅以外の評価		-	-		-	
# 2 選用管理体制 # 1						- 1	_	-	-	
集合性主の評価						_	_	-	_	
4.1 モニタリング 4.2 選用管理体制 - 0.50 1.7 変 操展 - 0.50 1.7 変 操展 - 0.50 1.1 節水							_		_	
日本 12							_		_	
R2 漢字・アリアル							_			
1. 京美閣保護	I B2	咨酒.					0.50	-		3.8
1.1 節水						3.4		-		3.4
1.2 南水利用・雑様水等の利用	ľŕ				白動水栓に加えて箭水型価哭を採田					3.4
一				田・雄排水筅の利用	ロック・ユールルとくのクト土 大田 と 体力					
2 非再生性資産の使用量削減 3.0 0.30		1.2						Ť	-	
2 非再生性資源の使用量削減									-	
2.1 材料使用量の削減 4.0 0.11 -		4- -	_						-	4.0
2.2 既存建築躯体等の継続使用 3.0 0.22	2				機械子継毛等も使用している			•	-	4.0
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 2.4 躯体材料におけるリサイクル材の使用 2.5 特続可能な素体から産出された木材 2.6 部材の再利用可能性向上への取組み 躯体・軽鉄・仕上材のデライーを採用し、OA707ーも採用している。	 						_	*	-	
2.4 躯体材料以外におけるリナイクル材の使用 ロックウール吸音材(ボード類)、OAフロア(床材)、ビニル床シート(床 2.5 持続可能な森林から産出された木材 2.6 持続可能な森林から産出された木材 2.6 排続可能性向上への取組み 躯体+軽鉄+仕上材のディールを採用し、OAフロアーも採用している。 5.0 0.22 - 3.7 決殊物質含含すない材料の使用 3.0 0.30 - 3.0 0.30 - 3.2 フロン・ハロンの回避 4.0 0.70 2.2 発泡剤(断熱材等) 3.0 次の 5.0 0.50 - 3.0 0.								-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材 2.6 部材の再利用可能性向上への取組み 躯体+軽鉄+仕上材のデディールを採用し、OA707ーも採用している。 5.0 0.22	L	2.3	躯体 材	「料におけるリサイクル材の使用				-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み 3.7 殊物質含有材料の使用回避 3.7 0.20					ロックワール吸音材(ホート類)、OAフロア(床材)、ビニル床シート(床	5.0	0.22	-	-	
3.7					A-11 + A-11 1 1 2 2 2 2 2 2 2	-	-	-	-	
3.1 有害物質を含まない材料の使用				イン・イングリン・3 日に「エレジエニー・マンス大小匹マン	躯体+軽鉄+仕上材のデティールを採用し、OAフロアーも採用している。			-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避	3							•	-	3.7
1 消火剤								•	-	
2 発泡剤(断熱材等) プンプロンの断熱材を採用している。 5.0 0.50		3.2				4.0	0.70	•	-	
Turk						-	-		-	
Turk			2	発泡剤(断熱材等)	ノンフロンの断熱材を採用している。	5.0	0.50	•	-	
1 地球湿暖化への配慮			3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
1 地球湿暖化への配慮	LR3	敷地タ	小環境			_	0.50	-	-	3.4
2 地域環境への配慮 3.5 0.50							-	•	-	-
2.1 大気汚染防止 燃焼機器の設置は無い 5.0 0.25 - - 2.2 温熱環境悪化の改善 3.0 0.50 - - 2.3 地域インフラへの負荷抑制 3.0 0.25 - - 3 交通負荷抑制 駐輪場・駐車場及び荷捌き用駐車車両の駐車施設を確保している。 3.0 0.25 - 4 廃棄物処理負荷抑制 3.0 0.25 - 3 周辺環境への配慮 3.2 0.50 - 3.1 騒音・振動・悪臭の防止 3.0 0.40 - 1 騒音 3.0 0.40 - 2 振動 3.0 0.40 - 3 悪臭 - - - 3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制 3.0 0.40 - 2 砂塵の抑制 3.0 0.40 - 3 日照阻害の抑制 3.0 0.30 - 3 別院の対制 3.0 0.30 - 2 砂塵の抑制 3.0 0.30 - 3 日照阻害の抑制 3.0 0.30 - 4 大源は総合効率の高いものを採用している。 5.0 0.70 -						3.5	0.50	•	-	3.5
2.3 地域インフラへの負荷抑制 3.2 0.25 - 1 雨水排水負荷低減 3.0 0.25 - 2 汚水処理負荷抑制 3.0 0.25 - 3 廃棄物処理負荷抑制 2.0 0.25 - 3 周辺環境への配慮 3.2 0.50 - 3.1 騒音・振動・悪臭の防止 3.0 0.40 - 1 騒音 2. 振動 - - 2 振動 - - - 3 悪臭 - - - 3 医臭 3.0 0.40 - 1 風害の抑制 3.0 0.70 - 2 砂塵の抑制 3.0 0.30 - 3 日照阻害の抑制 3.0 0.30 - 3 日照阻害の抑制 3.0 0.30 - 4 (4) 0.20 - - 1 屋外周明及び屋内周明のうち外に漏れる光のの対域 光源は総合効率の高いものを採用している。 5.0 0.70 -		2.1	大気汚	染防止	燃焼機器の設置は無い	5.0	0.25	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制 3.2 0.25 - - 1 雨水排水負荷低減 3.0 0.25 - - 2 汚水処理負荷抑制 3.0 0.25 - - 3 周辺環境への配慮 3.2 0.50 - - - 3.1 騒音・振動・悪臭の防止 3.0 0.40 - - - 1 騒音 2 振動 - <		2.2	温熱環	環境悪化の改善		3.0	0.50		-	
1 雨水排水負荷低減 3.0 0.25 - 2 汚水処理負荷抑制 3.0 0.25 - 3 交通負荷抑制 注輪場・駐車場及び荷捌き用駐車車両の駐車施設を確保している。 5.0 0.25 - 3 周辺環境への配慮 3.2 0.50 - 3.1 騒音・振動・悪臭の防止 3.0 0.40 - 1 騒音 3.0 1.00 - 2 振動 - - - 3 悪臭 - - - 3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制 3.0 0.40 - 1 風害の抑制 3.0 0.70 - 2 砂塵の抑制 3.0 0.30 - 3.3 光害の抑制 3.0 0.30 - 1 屋外側の方ち外に満れる光への対策 光源は総合効率の高いものを採用している。 5.0 0.70 -						3.2	0.25		-	
2 汚水処理負荷抑制 3.0 0.25 - - 3 交通負荷抑制 註輪場・駐車場及び荷捌き用駐車車両の駐車施設を確保している。 5.0 0.25 - - 3 周辺環境への配慮 3.2 0.50 -<							ï	-	-	
3 交通負荷抑制 駐輪場・駐車場及び荷捌き用駐車車両の駐車施設を確保している。 5.0 0.25									-	
4 廃棄物処理負荷抑制 2.0 0.25					駐輪場・駐車場及び荷捌き用駐車車両の駐車施設を確保している。				-	
3 周辺環境への配慮 3.2 0.50 - - 3.1 騒音・振動・悪臭の防止 3.0 0.40 - - 2 振動 - - - - - 3 悪臭 -			_						-	
3.1 騒音・振動・悪臭の防止 3.0 0.40	3	周辺理							_	3.2
1 騒音 3.0 1.00 - <td< td=""><td>J ,</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>-</td><td></td></td<>	J ,								-	
2 振動		0.1							_	
3 悪臭			_				-			
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制 3.0 0.40 - - 1 風害の抑制 3.0 0.70 - - 2 砂塵の抑制 - - - - 3 日照阻害の抑制 3.0 0.30 - - 3.3 光害の抑制 4.4 0.20 - - 1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる米への対策 光源は総合効率の高いものを採用している。 5.0 0.70 -										
1 風害の抑制 3.0 0.70		2.0				2.0	0.40		-	
2 砂塵の抑制		3.2								
3 日照阻害の抑制 3.0 0.30 3.3 光害の抑制 4.4 0.20 1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策 光源は総合効率の高いものを採用している。 5.0 0.70						ა.∪	0.70	•	-	
3.3 光害の抑制 4.4 0.20 1 E外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策 光源は総合効率の高いものを採用している。 5.0 0.70						0.0	-	•		
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策 光源は総合効率の高いものを採用している。 5.0 0.70	 							•	-	
		3.3			业語は <u>処合</u> 執索の高いたのと類型している			•	-	
Z 昼元の建初外壁による反射元(クレア)への対策 3 0 0.30			-		ル脈は応口刈竿の同いで外出している。			•	-	
0.0			2	全元の建物外壁による反射光(クレア)への対策		3.0	0.30	*	-	